

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)


提出日	R5.6.23
担当 課名	環境農林課
担当 グループ名	環境保全グループ
担当 記入者名	

<b>1 事業概要</b>	
(1)事業名	し尿処理事業費
(2)事業種別 (新規・継続)	継続
(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(4)第5次総振での位置づけ	(5)予算・財源等の別
①基本目標	快適な環境のまちく生活環境の整備)
①会計区分	一般会計
②大項目	下水道
②財源区分	町単独
③中項目	し尿処理施設の維持管理
③予算科目	款 4 項 2 目 3
④施策	し尿処理施設の維持管理
④予算事業名	し尿処理事業費
⑤施策コード	4.2.6.1 掲載ページ 71 ページ
(6)実施根拠	(7)総合戦略
①事務分類(自治・受託)	自治事務
①総合戦略	無
②根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
(該当事業名)	
③事業期間	開始 不明 年 月から 終了 未定 年 月まで


<b>2 事業の目的・対象及び内容</b>	
(1)目的(何のために行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)
し尿及び浄化槽汚泥の安定的な処理を行う	負担金の支出 老朽化施設の修繕 施設設備の点検
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)
町民(合併・単独浄化槽、汲み取り、農集)	し尿及び浄化槽汚泥処理の安定的継続
対象数	15,300 単位 人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など  
 下水道接続及び浄化槽敷設世帯が増加し、汲み取り世帯は減少している。  
 下水道接続世帯増加に伴い、処理量は減少傾向にある。

(6)SDGsへの貢献



6 安全な水とトイレを世界中に



14 海の豊かさを守ろう

**3 事業のコスト(実績・予算・決算)** (単位:千円)

項目	(1)事業(内容)名称					
	し尿処理事業費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳						
報酬		0	0	0	0	0
報償費		0	0	0	0	0
需用費		0	0	0	0	0
役務費		0	0	0	0	0
委託料		0	0	0	0	0
その他		83,887	70,404	64,263	53,025	72,147
直接事業費合計		83,887	70,404	64,263	53,025	72,147
(3)財源内訳						
国庫支出金		0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0
その他特定財源		0	0	0	0	0
一般財源		83,887	70,404	64,263	53,025	72,147
合計		83,887	70,404	64,263	53,025	72,147
(4)補助金名						
(5)人件費						
投入職員数		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
年間人件費		7,716	7,639	7,628	7,542	7,697
(6)総事業費		91,603	78,043	71,891	60,567	79,844
サービス量(人)		17,256	16,225	15,777	15,300	15,300
サービス単価		5.3	4.8	4.6	4.0	5.2
(単位)		千円/町民1人当たり				

4 指標の検証(活動指標・成果指標)		し尿処理事業費			
指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算
(1)活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)					
指標名	△	目標値			
		実績値			
		達成率			
	△	目標値			
		実績値			
		達成率			
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)					
指標名	共同処理事務件数(総振目標指標p116) R7年度目標値 18件	目標値	件	18	18
		実績値	件	19	19
		達成率	%	105.6	105.6
	△	目標値			
		実績値			
		達成率			
(3)その他指標に現れない成果 農業集落排水処理施設により発生する汚泥についても処理している。					
5 事業評価					
(1)項目別評価					
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている
					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である
3 その他( )					
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている
					2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である
3 その他( )					
妥当性	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している
					2 他に有効な代替手段が見当たらない
3 その他( )					
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している
					2 サービス単価を維持している
3 その他( )					
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている
					2 おおむね公平に分配されている
3 その他( )					
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている
					2 成果指標は、前年度より向上している
3 その他(し尿処理施設で順調に処理できている。)					
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	2	1 年度内に予定した事業は完了した
					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した
3 その他( )					
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)					
処理施設の老朽化や合併処理浄化槽の普及が進む中で、し尿及び浄化槽汚泥の処理量や性状が変化しているが、日々搬入される汚泥量の調整(平準化)や施設の運転等に工夫をしつつ安定的に処理できている。					
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合			
評価主体	(1)一次評価 (担当課長)	(2)二次評価 (政策推進課長)	(3)最終評価 (町長)		
評価	2				
説明	引き続き小川地区衛生組合で処理を継続する。				